

有人・無人ヘリコプター
散布用

農林水産省登録
第21258号



これからの
カメムシ防除は
ダントツで。

アカヒゲホソドリカスミカメ



アカスジカスミカメ



トゲシラホシカメムシ



オオトゲシラホシカメムシ

殺虫剤

ダントツ[®] フロアブル

ダントツは住化武田農業(株)の登録商標



クモヘリカメムシ



ミナミアオカメムシ



ホンハリカメムシ



コバネヒョウタンナガカメムシ

セジロウカ



トビロウカ



ツマグロヨコバイ



ヒメトビウカ

333ml入

計量
カップ付
(33ml)



6.7ℓ入もあります。

●有効成分：クロチアニジン・・・20.0% ●人畜毒性：普通物 ●魚毒性：A類(原体)

特長

- ①新しいタイプの殺虫剤。
- ②優れた速効性と残効性。
- ③安全性に優れ、周辺作物に対する影響も少ない。
- ④使用薬量は従来剤[※]の約1/3。

※8倍・800ml/10aで使用使用する薬剤との比較

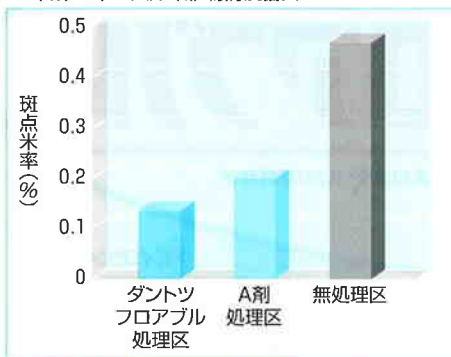
適用害虫と使用方法

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10a当たり散布液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロチアニジンを含む農薬の総使用回数
稲	ウンカ類 ツマグロヨコバイ カメムシ類	5000倍	60~150ℓ	収穫 14日前 まで	3回以内	散布	4回以内 (但し本同期は 3回以内)
		90倍	3ℓ			空中散布	
	ウンカ類 カメムシ類	24倍	800ml			無人ヘリコプターによる散布	

防除効果(無人ヘリコプター散布)

■カメムシ類に対する防除効果

平成14年 兵庫県植物防疫協会



- 栽培品種：コシヒカリ(移植：5月4日)
- 発生状況：ホソハリカメムシ、クモヘリカメムシ、トゲシロホシカメムシ
- 散布方法：8月7日、ダントツフロアブル 24倍 8ℓ/ha
- 使用機種：ヤマハR-MAX
- 調査方法：9月7日に各区50株を刈り取り、精玄米中の斑点米数を調査した。

⚠ 使用上の注意事項

- 使用量に合わせ薬液を調整し、使いきってください。
- 本剤は長期貯蔵しておくとは分離するので、使用の際は容器をよく振って均一な状態に戻してから所定量を取り出してください。
- 蚕に対して影響があるので、桑に付着する恐れのある地域では使用しないでください。
- ミツバチを放飼している地域では使用を避けてください。
- マルハナバチに影響を及ぼす恐れがあるので注意してください。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等指導機関の指導を受けてください。
- 空中散布及び無人ヘリコプター散布に使用する場合は次の注意を守ってください。
 - ①各散布機種の散布基準に従って実施してください。
 - ②少量散布の場合は、微量散布装置以外の散布器具は使用しないでください。
 - ③無人ヘリコプターでの散布は散布機種に適合した散布装置を使用してください。
 - ④散布中、薬液が漏れないように機体の散布用配管その他散布装置の十分な点検を行なってください。
 - ⑤散布薬液の飛散によって自動車やカラートタンの塗装等に影響を与えないよう、散布地域の選定に注意し、散布区域内の諸物件に十分留意してください。
 - ⑥水源地、飲料用水等に本剤が飛散流入しないように十分注意してください。
 - ⑦作業終了後は次の項目を守ってください。
 - 使用後の空の容器は放置せず安全な場所に適切に処理してください。
 - 機体散布装置は十分洗浄し薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理してください。

●混用して問題のなかった事例のある薬剤(無人ヘリコプター散布)

下記薬剤と混用しても、物理性上問題ありません。

アブロードゾル	ピームエイトゾル	モンカットフロアブル
アミスターエイト	ピームゾル	モンカットラブサイド20フロアブル
カスラブサイドゾル ^{注1)}	ピームバリダゾル	モンセレンフロアブル
カスラバリダゾル	フジワン乳剤	ラブサイドフロアブル
デラウスフロアブル	ブラシンゾル	ラブサイドモンガードゾル
ノンラスフロアブル	ブラシンバリダゾル	ラブサイドモンセレンフロアブル
バリダシンエアー	モンガードゾル	

注1) 混用順序は水→カスラブサイドゾル→攪拌→ダントツFLが望ましい

●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●本剤は小児の手の届くところには置かないでください。

この印刷物の記載内容は2005年6月1日現在のものです。